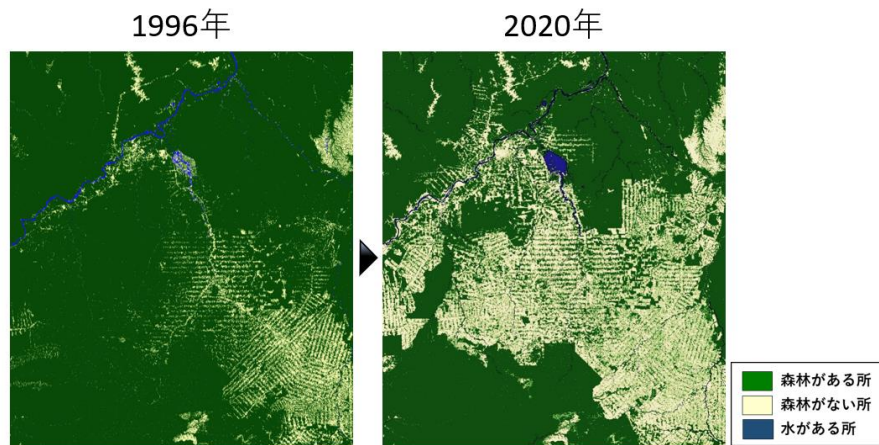


下の図は地球観測衛星が撮影したブラジルアマゾンの熱帯林の様子です。1996年から2020年にかけて広い範囲で森林が減ってしまっていることが分かります。



アマゾンは地球全体の熱帯林のほぼ半分を占め、生物多様性に富み、二酸化炭素を吸い込む量が多いことから「地球の肺」とも呼ばれています。

しかし、大豆畑などの農地や牧場を整備するために、森林伐採が繰り返され、広い範囲で森林が無くなってしまいました。熱帯林の減少は、地球温暖化の進行にもつながります。



© Project-MORI, JICA / Flávio Medeiros, IBAMA

森林伐採が行われているエリア

アマゾン熱帯林の減少は、人間の消費行動が原因の一つです。私たちにできることは何でしょうか？

1. 持続可能な農業や牧畜の推進

大豆や牛肉などの農産物の生産が、ブラジルの熱帯林減少の主な原因ですが、これらは私たち人間が暮らしていく上で欠かせない食べ物です。例えば、環境への負荷を小さくする持続可能な農法で生産された農作物を選んで購入することができます。

2. 食品ロスを減らす

食品ロスは、地球温暖化や食料不足などの問題を引き起こしています。食事の量を適切に調整する、食べ残しを減らすといった方法で、食品ロスを減らすことができます。



ブラジルの大豆畑や牧場